

第 65 期物理学史資料委員会活動報告書

委員長：植松英穂

委員：倉本義夫(担当理事)、赤羽 明、岡本拓司(副委員長)、勝木 渥、
小長谷大介、小林典男、高岩義信、棚橋誠治、永平幸雄、難波忠清、
廣政直彦、吉田晴代

1. 物理学史資料委員会会議の開催

下記の通り、3回の委員会会議を開催した。

第 77 回物理学史資料委員会

日時：2009年11月11日(水) 13:30～16:00 場所：物理学会会議室

第 78 回物理学史資料委員会

日時：2010年3月12日(火) 13:30～16:00 場所：物理学会会議室

第 79 回物理学史資料委員会

日時：2010年7月23日(金) 13:30～16:00 場所：物理学会会議室

2. 第 65 回年次大会での仁科芳雄展の報告

第 65 回年次大会が行われた 2010 年 3 月 20 日から 23 日まで、岡山大学清水記念体育館において、仁科芳雄展が開催された。展示品は、仁科芳雄の生誕地である



る里庄町の仁科芳雄会館所蔵の写真、パネル、手紙のコピー等と、江沢洋氏の好意により仁科記念財団所蔵の手紙と論文のコピーを借用して展示した。開催期間の入場者数は不明であるが、ポスターセッションと機器・書籍関係の展示会と同じ会場であったためか、多くの入場者が訪れてくれた。入口と出口に置いた 2 冊のノートに署名をしてくれた入場者は、合計 131 名であった。

3. 物理学史資料に関する情報

- 3-1 東大駒場では、一高の実験機器や教材の整理をしている。修復し、写真を撮り、デジタルアーカイブとして東大のWebサイトで公開している。
- 3-2 名大坂田記念史料室では、早川資料、有山資料のデータベースを作成している。坂田家に残っている資料があるが、調査していない。
- 3-3 名大ではノーベル賞展示室が 5 月に暫定オープンした。小林、益川関係資料を収集しているため、多くは坂田資料の展示となっている。見学者は 1000 名/月で、2011 年 4 月にフルオープンの予定。
- 3-4 名大坂田記念史料室が保管する有山資料の中の会議録のごく一部分の目録を作成した。
- 3-5 KEK資料室では資料の受け入れが着々と進んでいて、資料のデータベース化を行っている。

- 3-6 群大の学術レポジトリでは、明治期教科書 169 冊、田辺元の京大退職後の資料の「田辺文庫」の画像が掲載されている。
- 3-7 東大天文を退官された藤田由夫氏が保存されていた物理学会誌(最後の数物学会雑誌から 2009 年まで、未製本)が資料委員会に寄贈された。物理学会保存の物理学会誌は表紙が欠けた通常の製本であるため、未製本状態のもの保存の必要性が認められ、受け入れが決まった。
- 3-8 核融合科学研究所核融合アーカイブ室では、関連する史料の収集に努めており、その過程で関口忠資料に新たな追加史料が加わった。また、大河千弘、林忠四郎、寺嶋由之介などに対するインタビューも行った。特に、林忠四郎に対するインタビューは、彼の生前最後のインタビューになったのではないかと考えられる。2010 年 4 月から、アーカイブ室長の交替があったが、基本方針は変わらない。公文書管理法施行に向けて、研究所の法人文書の歴史的史料としての取り扱いについても検討を進めている。
- 3-9 高岩委員が代表を務める科研費による湯川、朝永、坂田資料のデータベース化が、それぞれの史料室で進行している。

4. 資料委員会保管資料の利用

土井資料の閲覧希望があった。閲覧した資料を第三者に提供するということがあったが、条件を付し許可した。

5. 今後の活動

- 5-1 会報第 4 号については、3 月の発行を目指し、内容を再調査する。
- 5-2 ホームページの充実については、委員が入手した情報を新着情報として適宜掲載することとし、画像なども貼り付けて見やすいものにするようになった。